

市町村名	粟国村							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	地域資源活用推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	島の自然や伝統文化などの地域資源を観光資源として広めていくための観光商品開発(着ぐるみ制作)やイベントの開催及び観光等に従事する人材育成を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		31,500				
		(b)予算現額		31,500				
		(c)増減額(b-a)		0				
		(d)繰越額		0				
		A. 計(b+d)		31,500				
	B. 執行済額			31,500				
	うち交付金充当額			25,200				
	次年度繰越額			0				
	執行率(%) (B/A)			100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	①粟国島「あ」の国まつりの開催 ②観光人材育成に向けた講演会 ③観光商品開発	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績			①1回 ②2回 ③2点			
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	達成状況説明	観光アプリの開発、商標登録申請した村イメージキャラクターのアニーちゃんの着ぐるみの製作、粟国島「あ」の国まつりの開催、イベント実務研修、地域活性化講演会が実施された。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)			基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	①粟国島「あ」の国まつりの開催 ②観光人材育成に向けた講演会 ③観光商品開発	目 標	()	()	()	()	()	()
		実 績				①1回 ②2回 ③2点		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	()
		実 績						
	進捗状況説明	観光アプリの開発により、粟国村へ足を運ぶ新たな観光客やそのリピーターの増加を目指したい。また村のイメージキャラクターアニーちゃんを粟国村観光のシンボルとしてイベントや様々な場面で活用していきたい。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	イベント開催時期に荒天が続き、フェリーでの資材等の輸送にも影響し、イベント開催日程の繰り下げや、開催場所の変更を行った。台風時期や冬場の時期をさけてイベントを開催してほしいとの要望があった。	開催時期等の十分な検討を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
平成26年度以降は旅行ツアーを企画し、観光入客数の増加に取り組んでいく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>31,500</td><td>31,500</td><td>25,200</td><td>6,300</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	31,500	31,500	25,200	6,300	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
31,500	31,500	25,200	6,300	0										
栗国村 31,500千円 → 委託料 31,500千円 → 株式会社アドスタッフ博報堂 31,500千円														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により、確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-②	環境美化促進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	経済課	事業実施 (予定) 年度	平成 2 4 ~ 2 8 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	観光地の景観を維持していくために観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を重点的に実施する。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額		8,855				
		(b)予算現額		6,965				
		(c)増減額(b-a)		▲ 1,890				
		(d)繰越額		0				
		A. 計(b+d)		6,965				
	B. 執行済額			6,965				
	うち交付金充当額			5,572				
	次年度繰越額			0				
	執行率(%) (B/A)			100.0%				
予算の状況の説明		備品購入や使用料等の不要額、賃金や消耗品費の執行残が発生しているが、当初計画していた事業内容は実施できた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光地及びアクセス道路の美化	目 標	()	(20カ所)	()	()		
		実 績		20カ所				
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状 況 説 明	実施計画に基づき、美化活動が実施された。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)			基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	観光地及びアクセス道路の美化	目 標	()	()	(20カ所)	()	()	
		実 績			20カ所			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	環境美化活動を実施した事により、観光地及び観光地へのアクセス道路等において、景観が向上した。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	雨天時が多く、天候等の問題で思うように作業が進まないことがあった。	集客の見込める夏場に美化活動のスタートができなかったため、計画をもって早めに美化活動を行う。また、観光客の玄関口である、空港や港等に植栽等を行い、さらなる美化、緑化を推進してき、観光客が再び訪れたいように取り組む。
今後の取り組み方針		
観光客の玄関口である、空港や港等に植栽等を行い、さらなる美化、緑化を推進し、観光振興を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
6,965	6,965	5,572	1,393	0

栗国村
6, 9 6 5千円

賃金
6, 5 9 0千円

需用費
3 7 5千円
(消耗品及び燃料費)

作業員 4月～3月 延べ105名

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなほか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	栗国村							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-④	公衆無線LAN設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
						III-1-(1)		
事業内容	栗国空港、栗国港、栗国村観光協会ビル内の3か所に観光客が集まる場所にインターネットが使用できるWiFiスポットを整備する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		1,260				
		(b)予算現額		1,178				
		(c)増減額(b-a)		▲ 82				
		(d)繰越額		0				
		A. 計(b+d)		1,178				
	B. 執行済額			1,178				
	うち交付金充当額			942				
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)			100.0%				
予算の状況の説明		当初予定していた作業費が不要になり減額となったが、当初計画していた事業内容は実施しており、適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	Wi-Fiスポットの設置 3カ所(栗国港、栗国空港、栗国村観光協会ビル内)	目 標	()	(3カ所)	()	()		
		実 績		3カ所				
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	栗国村観光協会ビル内、栗国空港ビル内、栗国港旅客待合所ビル内に公衆無線LANアクセスポイントを設置し、通信キャリアを特定しない「公衆無線LANサービス」を提供することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)			基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	Wi-Fiスポットの設置 3カ所(栗国港、栗国空港、栗国村観光協会ビル内)	目 標	()	()	(3カ所)	()	()	
		実 績				3カ所		
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	栗国村観光協会ビル内、栗国空港ビル内、栗国港旅客待合所ビル内に公衆無線LANアクセスポイントを設置し、通信キャリアを特定しない「公衆無線LANサービス」を提供することができた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	Wi-Fiスポットがどこにあるのか一目でわかるような標示をしてほしいとの要望がある。	公衆無線LANアクセスポイント設置箇所にステッカーやポスター等を貼りアピールし、村ホームページにもサービス提供している旨掲載し、村内外へ周知する。
今後の取り組み方針		
村ホームページの管理運営業者には特設ページ作成を依頼している。また、利用者数を把握し今後の展開に活用したい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
1,178	1,178	942	236	0

栗国村
1,178千円

委託料
1,178千円

株式会社情報システムヘルパー
1,178千円

Wi-Fiスポットの設置 3カ所
(栗国港、栗国空港、栗国村
観光施設)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は村の入札参加資格者名簿から村の指名審査委員会により指名し、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費用・使途については、事業目的の達成の観点から適正であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑤	ヤヒジャ海岸周辺環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-12-ア		
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成25～平成26年		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
						Ⅲ-1-(1)		
事業内容	粟国島形成の際の火山活動の痕跡が残る様々な地質が存在している西ヤマトガー海岸からマハナ崎にかけてのヤヒジャ海岸周辺を散策できるよう駐車場や階段等の周辺整備を行う。25年度は、駐車場及び階段の実施設計を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		11,040				
		(b)予算現額		4,725				
		(c)増減額(b-a)		▲ 6,315				
		(d)繰越額		0				
		A. 計(b+d)		4,725				
	B. 執行済額			4,725				
	うち交付金充当額			3,780				
	次年度繰越額			0				
	執行率(%) (B/A)			100.0%				
予算の状況の説明		平成25年度は設計及び工事を予定していたが、景観や安全策に配慮した設計に時間を要したため、工事については26年度に実施することにした。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	駐車場及び階段等の実施設計	目 標	()	(実施設計)	()	()		
		実 績		実施設計完了				
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	ヤヒジャ海岸周辺の駐車場や階段等の実施設計完了。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)			基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	駐車場及び階段等の実施設計	目 標	()	()	(実施設計)	()	()	
		実 績			実施設計完了			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	測量設計委託業務による実施設計完了。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	観光スポットとしてのヤヒジャ海岸へのアクセス向上を図るため、村道から直接階段を設ける計画であるが、村道から海岸に至る道は、草木が生い茂っている状態である。また、村道と海岸との高低差が約40mほどあり、施工予定箇所での重機を使った作業が困難であるため、階段の材料や材質等は軽くて、腐食のない材質を使用する必要がある。	階段工は、材質が軽く、景観性や耐腐食性と強度的にも優れた材質を採用した。
今後の取り組み方針		
平成26年度工事を完了し、平成27年には供用開始を行い、観光ガイドマップや村ホームページなどPR活動を積極的に行い、観光スポットの定着を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
4,725	4,725	3,780	945	0

栗国村
4,725千円

設計委託料
4,725千円

有限会社 大信土木設計
4,725千円

測量設計委託業務

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は村の入札参加資格者名簿から村の指名審査委員会により指名し、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費用・使途については、事業目的の達成の観点から適正であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	一	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥	東ヤマトガー周辺環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－12－ア		
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
III－1－(1)								
事業内容	パワースポットの観光地の「東ヤマトガー」周辺での東屋、安全防止柵及び駐車場の整備を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		23,050				
		(b)予算現額		3,255				
		(c)増減額(b-a)		▲ 19,795				
		(d)繰越額		0				
		A. 計(b+d)		3,255				
	B. 執行済額			3,255				
	うち交付金充当額			2,604				
	次年度繰越額			0				
	執行率（％）(B/A)			100.0%				
予算の状況の説明		平成25年度は設計及び工事を予定していたが、景観や安全策に配慮した設計に時間を要したため、工事は次年度事業とした。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	東屋1棟、安全防止柵50m及び駐車場等の整備	目 標	()	(整備)	()	()		
		実 績		実施設計完了				
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	パワースポットの観光地の「東ヤマトガー」周辺での東屋、安全防止柵及び駐車場等の設計及び工事を予定していたが、景観や安全柵に配慮した設計に時間を要したため、実施設計のみ完了し、工事は次年度事業とした。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)			基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	東屋1棟、安全防止柵50m及び駐車場等の整備	目 標	()	()	(整備)	()	()	
		実 績			実施設計完了			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	パワースポットの観光地の「東ヤマトガー」周辺での東屋、安全防止柵及び駐車場等の設計及び工事を予定していたが、景観や安全柵に配慮した設計に時間を要したため、実施設計のみ完了し、工事は次年度事業とした。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	東ヤマトガーは、栗国村の東部落の海岸沿いに位置し、地形的にも険しい断崖で形成されており、その中でもパワースポットの観光地として周知されている。観光客や利用者に対して、利便性や景観的にも優れた休養施設を新設する。	栗国一周道路からアクセスしやすい場所に車9台の駐車場を設け、敷地には休養施設として東屋を1基設け、観光客の利便性を図る。
今後の取り組み方針		
平成26年度内に工事を完了し、平成27年度には供用を開始する予定である。 観光ガイドマップや村ホームページなどに東ヤマトガーについて掲載するなどPR活動を積極的に行い、観光スポットとしての定着を図る。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,255</td><td>3,255</td><td>2,604</td><td>651</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,255	3,255	2,604	651	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,255	3,255	2,604	651	0										
栗国村 3,255千円 設計委託料 3,255千円 株式会社 岩下建技コンサルタント 3,255千円 測量設計委託業務														
資金の流 使途の流 点検・費 点検・費 点検・費 点検・費	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は村の入札参加資格者名簿から村の指名審査委員会により指名し、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費用・使途については、事業目的の達成の観点から適正であると考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1ー⑨	地質遺産活用推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－ア		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	H 2 5 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業振興 Ⅲ－1－(1)		
事業内容	粟国島形成の際の火山活動の痕跡が残る様々な地質が存在している海岸周辺の地質遺産を中心とした新たな観光資源の活用に向けた推進計画策定や学習活動を実施する							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		5,425				
		(b)予算現額		5,229				
		(c)増減額(b-a)		▲ 196				
		(d)繰越額						
		A. 計(b+d)		5,229				
	B. 執行済額			5,229				
	うち交付金充当額			4,183				
	次年度繰越額			0				
	執行率（％）(B/A)			100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた先進地視察を取りやめたため、不用が生じた。その他の事業内容はすべて実施し、適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	粟国村ジオツーリズム推進計画策定	目 標	()	(推進計画策定)	()	()		
		実 績		推進計画策定				
	学習会の開催	目 標	()	(学習会1回)	()	()		
		実 績		講演会1回・学習会1回 ワークショップ1回				
	達成状況説明	・粟国村ジオツーリズム推進計画を策定した。 ・村民を対象としたジオツーリズムについての講演会の開催(1回)、関係者を集めてのツーリズムとインタープリテーション(解説活動)についての学習会とジオ体験プログラムについてのワークショップ(各1回)開催した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)			基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	粟国村ジオツーリズム推進計画策定	目 標	()	()	(推進計画策定)	()	()	
		実 績			推進計画策定			
	(村民対象) 粟国島の地質学習会1回	目 標	()	()	(学習会1回)	()	()	
		実 績			学習会1回・講演会1回・ワークショップ1回			
	進捗状況説明	策定した粟国村ジオツーリズム推進計画の具体的な取り組みについて推進するため、推進組織を立ち上げる。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	ジオツーリズムを推進するにあたっては、教育、環境保護保全、地域振興の観点から産学官の協働の取り組みが必要である。 ガイド等の人材育成体制の整備が十分でないため、ガイド養成やガイド担い手の確保について検討することが必要である。	教育、環境保護保全、地域振興を主体とし、産学官のバランスのとれた推進組織を立ち上げ、具体的な取り組みを検討する。 継続した学習会を開催し、人材育成の体制を検討する。
今後の取り組み方針		
粟国村ジオツーリズム推進計画に基づいて、推進組織を立ち上げ、地球科学的資源の保護・保全に向けての学習会の継続やジオガイドをはじめとする人材育成のプログラムの確立等に向けての取り組みを行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,229</td><td>5,229</td><td>4,183</td><td>1,046</td><td>0</td></tr> </table> 粟国村 5,229千円 委託料 5,229千円 中央開発株式会社 沖縄支店 5,229千円 粟国村ジオツーリズム推進計画に係る委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,229	5,229	4,183	1,046	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,229	5,229	4,183	1,046	0										
資金の流 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
資金の流 使途の 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	ー	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑩	あぐにデジタルアーカイブ化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興			
事業内容	島の豊かな自然や伝統文化等、島にまつわる多種多様な資料をデジタル化し、それらを管理システムに集約・管理し利便性を向上させることで、村民および観光客の郷土学習に寄与する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		21,000				
		(b)予算現額		17,850				
		(c)増減額(b-a)		▲ 3,150				
		(d)繰越額		0				
		A. 計(b+d)		17,850				
	B. 執行済額			17,850				
	うち交付金充当額			14,280				
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)			100.0%				
予算の状況の説明		一部コンテンツ制作について、次年度に実施するよう事業内容を変更したため、3,150千円減額が発生したが、当初計画した事業内容は実施できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	粟国村内の自然・伝統文化の画像や映像収集及びデータ管理ソフトの作成	目 標	()	(4件)	()	()		
		実 績		4件				
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	①管理システムを構築 ②コンテンツ調査実施 ③ふくらしやる粟国今昔展の開催 ④コンテンツ(粟国村誌、村勢要覧、紙芝居)を制作							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)			基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	粟国村内の自然・伝統文化の画像や映像収集及びデータ管理ソフトの作成	目 標	()	()	(4件)	()	()	
		実 績			4件			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	①管理システムを構築。 ②「粟国」に関する資料(1,767件を調査)を調査ができた。 ③「ふくらしやる粟国今昔店」は3日間の開催で村内外174名来場され大盛況だった。 ④粟国村誌(平成13年8月20日再販、273頁)、村勢要覧(平成25年度版、48頁)、紙芝居(タイトル:粟国の洞寺、4分34秒)を制作。多くの方々へ当該事業を告知し、貴重な資料を取り込み掲載件数・内容を充実していく。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	村民および村外の島関係者への周知活動不足による住民への調査活動が思うように進まなかった。	村内に対しては各区長および各団体への協力強化、村外に対しては郷友会や村民からの紹介などによる村出身者への周知・協力依頼を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
村内外・各関連団体への広報活動（ホームページや広報誌にて）を強化しより多くの資料を集める。住民から意見・要望を募り、各分野の特集等の企画、システム改善を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>17,850</td><td>17,850</td><td>14,280</td><td>3,570</td><td>0</td></tr> </table> 栗国村 17,850千円 委託料 17,850千円 丸正印刷株式会社・株式アイアム共同企業体 17,850千円 システム（データベース管理ソフト）の構築および、コンテンツ調査、コンテンツ制作					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	17,850	17,850	14,280	3,570	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
17,850	17,850	14,280	3,570	0										
資金の流 れ、費 用、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により、確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	栗国村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	小中学校体育館屋根長寿命化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	教育委員会 教育総務課	事業実施 (予定) 年度	平成 2 5 年度			災害に強い県土づくりと防災体制の強化	
			III-10-(2)				
事業内容	台風襲来の塩害により耐久性が悪くなっていることから、栗国小中学校の体育館の屋根を改修し、災害時の避難場所として機能強化を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		18,900			
		(b)予算現額		17,010			
		(c)増減額(b-a)		▲ 1,890			
		(d)繰越額					
		A. 計(b+d)		17,010			
	B. 執行済額		17,010				
	うち交付金充当額		13,608				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		委託料及び工事費の入札残による予算現額の減である。当初計画の事業は全て実施したので予算の執行は適正であったと考えている。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	栗国小中学校体育館の屋根の改修	目 標	()	(小中学校:1校)	()	()	
		実 績		小中学校:1校			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	屋根の錆がひどく軒先部分が腐食している状態であったが補修することが出来た。また、災害時には緊急避難場所になることから改修工事を実施した。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	栗国小中学校体育館の屋根の改修	目 標	()	()	(小中学校:1校)	()	()
		実 績			小中学校:1校		
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	屋根の改修工事を実施したことにより災害時の避難場所としての施設強化が図られた。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	台風襲来等による施設の荒廃は避けられないが、学校施設は地域住民の応急的な避難場所としての役割も担っていることから、引き続き必要な長寿命化、耐震性の確認する必要がある。	台風襲来等の災害後は施設の被害状況の把握に努める。
今後の取り組み方針		
村の災害時の避難場所として、施設の安全点検実施等の取り組みを行う。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
17,010	17,010	13,608	3,402	0

栗国村

17,010千円

委託料

1,260千円

有限会社 エン設計

1,260千円

栗国小中学校体育館屋根改修工事設計・監理に係る委託業務

工事費

15,750千円

有限会社 玉榮組

15,750千円

栗国小中学校体育館屋根改修工事に係る工事請負費

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は村の入札参加資格者名簿から村の指名審査委員会により指名し、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費用・使途については、事業目的の達成の観点から適正であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	栗国村							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-③	栗国村離島振興総合センター長寿命化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ		
担当部課名	民生課	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 III－10－(2)		
事業内容	栗国村の産業振興、文化振興の拠点として、また、避難施設として地域防災計画でも指定されている栗国村離島振興総合センター(昭和59年完成)の劣化調査、施設の剥離部分の改修、外壁の塗装及び内部電気の修繕等の長寿命化に向けた工事を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		29,275				
		(b)予算現額		19,597				
		(c)増減額(b-a)		▲ 9,678				
		(d)繰越額		0				
		A. 計(b+d)		19,597				
	B. 執行済額			19,597				
	うち交付金充当額			15,677				
	次年度繰越額			0				
	執行率(%) (B/A)			100.0%				
予算の状況の説明		設計及び工事にかかる入札減等により、9,678千円の予算減額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	栗国村離島総合センターの劣化調査及び長寿命化工事	目 標	()	(調査及び工事の実施)	()	()		
		実 績		調査及び工事の実施				
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
	達成状況説明	・設計図書に基づき、工事を実施した。緊急性の高い剥離箇所については計画通り整備を推進した。 ・離島総合センターの劣化調査及び施設の剥離部分の改修、外壁の塗装等を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)			基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	栗国村離島総合センターの劣化調査及び長寿命化工事(2階建て1,100㎡)完了	目 標	()	()	(調査及び工事の完了)	()	()	
		実 績			調査及び工事の完了			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	離島総合センターの劣化調査をもとに劣化部分や剥離箇所の改修ができたことにより利用者が安心して施設を利用できるようになった。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・栗国村の産業振興、文化振興の拠点であり、浜部落の避難施設である栗国村離島振興総合センターの劣化調査、施設の剥離部分の改修、外壁の塗装等の修繕等を行うことにより安心して利用できるようになった。 ・今年度は、緊急性の高い箇所の長寿命化を図ったが次年度以降耐久度調査や必要箇所の修繕を行う箇所が認められた。	・施工から約30年を経過し、巨大地震を想定した耐久度調査や耐久補強工事が必要であると認められる。
今後の取り組み方針		
栗国村離島振興総合センターは、栗国村の産業振興・文化振興の拠点であり、浜部落の避難施設としての機能を果たすため、今後も安全点検等の取組みを行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>19,597</td><td>19,597</td><td>15,677</td><td>3,920</td><td>0</td></tr> </table> 栗国村 19,597千円 委託料 3,462千円 上城技術情報株式会社 3,462千円 総合センター長寿命化設計監理委託業務 工事請負費 16,135千円 株式会社 瀬長組 16,135千円 総合センター長寿命化工事					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	19,597	19,597	15,677	3,920	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
19,597	19,597	15,677	3,920	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は村の入札参加資格者名簿から村の指名審査委員会により指名し、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費用・使途については、事業目的の達成の観点から適正であると考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	栗国村							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3－①	沖縄関係戸籍電算化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(5)－イ		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	戦後処理問題の解決 III－3－(11)		
事業内容	沖縄関係戸籍は、戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。持続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため沖縄関係戸籍を電算化する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		9,065				
		(b)予算現額		7,271				
		(c)増減額(b-a)		▲ 1,794				
		(d)繰越額		0				
		A. 計(b+d)		7,271				
	B. 執行済額			7,271				
	うち交付金充当額			5,816				
	次年度繰越額			0				
	執行率(%) (B/A)			100.0%				
予算の状況の説明		戸籍に伴う作業のため賃金職員の賃金、社会保険料を計上していたが、当初予定していた作業が職員の対応で可能であったため減額が生じた。 事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	紙戸籍や関連する資料の電算化の実施 (対象戸籍数:2,245件)	目 標	()	(2245件 電算化)	()	()		
		実 績		2245件電算化				
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	・庁内にて仮戸籍、福岡戸籍、臨時戸籍等の原簿を解体しナンバーリング後にスキャンした。 ・スキャンしたデータは検索用見出しデータを作成しシステムに取り込んだ。 ・取り込んだデータは証明書として交付することが可能になった。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)			基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	沖縄関係戸籍の電算化率	目 標	()	()	(100%)	()	()	
		実 績			100%			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	沖縄関係戸籍等の文書についてすべて電算化が行われ、システムから証明書として交付することが可能となった。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	沖縄関係戸籍が電算化されたことで、今後証明書として安定的な交付が可能となる。	今後は電算化したデータについて適正に活用していきたい。
今後の取り組み方針		
戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たす沖縄関係戸籍を電算化したことにより、データを適正に管理していきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
7,271	7,271	5,816	1,455	0

栗国村
7, 271千円

⇒

委託料
7, 271千円

⇒

富士ゼロックスシステムサービス株式会社
7, 271千円

沖縄関係戸籍電算化に係る委託業務
1. 原簿の解体及びナンバーリング
2. 原簿のスキャン作業
3. データの見出し作業
4. データのシステムへの取り込み
5. 出力検査
6. データ納品

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	受託業者については公募型プロポーザル方式により、これまでの企業実績や知識等、戸籍事務について高度の技術を有しており、沖縄関係戸籍等についての電算化システムを有していたことから選定は妥当であったと考える。また事業達成のため必要な使途であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	定住促進住宅整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(11)－イ	
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成25～平成26年		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ－3－(11)	
事業内容	産業振興に向けた担い手確保を目的に、若者のターン、Uターン者の定住施設を充実するため、集合住宅を整備する。 平成25年度に実施設計完了、平成26年度工事完了予定、平成27年度には供用開始する予定である。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		20,180			
		(b)予算現額		6,489			
		(c)増減額(b-a)		▲ 13,691			
		(d)繰越額		0			
		A. 計(b+d)		6,489			
	B. 執行済額		6,489				
	うち交付金充当額		5,191				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		平成25年度は設計及び工事を予定していたが、設計に時間を要したため、工事は次年度事業とした。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	集合住宅(6世帯)の実施設計	目 標	()	(集合住宅(6世帯)の実施設計)	()	()	
		実 績		集合住宅(6世帯)の実施設計			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	平成25年度:集合住宅(6世帯)の実施設計完了。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	集合住宅(6世帯)の実施設計	目 標	()	()	集合住宅(6世帯)の実施設計	()	()
		実 績			集合住宅(6世帯)の実施設計		
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	平成25年度:集合住宅(6世帯)の実施設計完了。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	1棟6戸(2階建て)は、若者定住住宅として予定しているが、単身用の設計のため入居者の利便性に配慮を図る必要がある。	若者定住住宅として十分配慮した設計となった。次年度工事完了ができるよう、早めの着手を行う必要がある。また、若者が定住するための施策を充実させ、早めの入居募集を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
平成26年度は工事着工と完了を目指し、平成27年度の供用開始に向け、入居の募集を行い、健全な入居状況を進める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)															
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象 事業費</td><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td><td>交付対象 外経費</td></tr><tr><td>6,489</td><td>6,489</td><td>5,191</td><td>1,298</td><td>0</td></tr></table> 栗国村 6,489千円 設計委託料 6,489千円 有限会社 桜設計 6,489千円 測量設計委託業務						総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	6,489	6,489	5,191	1,298	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費											
6,489	6,489	5,191	1,298	0											
資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点 検 項 目			評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。			○事業者は村の入札参加資格者名簿から村の指名審査委員会により指名し、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費用・使途については、事業目的の達成の観点から適正であると考えている。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。													
	ー	受益者との負担関係は妥当であるか。													
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名	粟国村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	児童・生徒派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会 教育総務課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充 Ⅲ-3-(11)	
事業内容	離島である本村の児童・生徒の（島外での）諸教育活動への派遣費を支援する。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		3,416			
		(b)予算現額		2,571			
		(c)増減額(b-a)		▲ 845			
		(d)繰越額		0			
		A. 計(b+d)		2,571			
	B. 執行済額		526				
	うち交付金充当額		421				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		20.5%				
予算の状況の説明		天候の悪化等により当初計画のフェリーが出航できず参加できない大会等もあり、一部予算執行ができず、予算減額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	大会派遣児童・生徒数	目 標	()	(57人)	()	()	
		実 績		153人			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	本村の児童生徒153人(小学生54人、中高生89人)が、島外で開催された大会等に参加するために必要な費用の一部を補助した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	大会派遣児童・生徒数	目 標	()	()	(57人)	()	()
		実 績			143人		
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	児童生徒の活躍により、目標の大会派遣児童・生徒数を大幅に上回ることができた。 悪天候(台風等)のためフェリーが欠航し、参加できない大会が7月、9月、11月に3回あった。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	台風前後や冬場はフェリーの欠航率が高く、児童生徒等が島外へ移動できずに大会等に不参加となるケースがあった。児童生徒等の移動手段について、関係者から「飛行機を利用できないか」といった要望があった。	天候に応じて飛行機及びフェリーを使い分けるなど、交通機関と連携して計画した大会等に児童生徒を確実に派遣できるよう対応する必要がある。
今後の取り組み方針		
計画した大会等に児童生徒等を確実に派遣するため、天候に応じて飛行機及びフェリーを使い分けるなど、交通機関と連携して臨機応変に対応したい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
2,571	526	421	105	2,045

栗国村
教育委員会
旅費
526千円

栗国小中学校(資金前渡)
(航空運賃・船賃・宿泊)
児童生徒分のみ
526千円

栗国小中学校
航空会社、宿泊先、船舶課

(栗国村の児童・生徒が、大会等
に参加するための村外派遣に要
する経費を負担。)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価、 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3－④	小中学校ICT学習環境強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－5－(4)－ア	
担当部課名	教育委員会 教育総務課	事業実施 (予定) 年度	平成 2 5 年度			国際社会、情報社会に対応した 教育の推進	
			Ⅲ－3－(11)				
事業内容	児童・生徒がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、適切に活用できるICT環境の充実を図る。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額		9,578			
		(b) 予算現額		8,991			
		(c) 増減額 (b-a)		▲ 587			
		(d) 繰越額		0			
		A. 計 (b+d)		8,991			
	B. 執行済額		8,991				
	うち交付金充当額		7,193				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		不用額△578は入札残による、当初計画の事業は全て実施したので予算の執行は適正であったと考えている。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標 (指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	学習用パソコン及び周辺機器の導入	目 標	()	生徒用PC15台指 導用PC1台等周 辺機器関連ソフト	()	()	
		実 績		生徒用PC15台 指導用PC1台等周 辺機器関連ソフト			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成 状況 説明	小中学校のICT学習環境強化を図るため生徒用PC15台、指導用PC1台及び周辺機器の導入等を実施した。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標 (指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	学習用パソコン及び周辺機器の導入	目 標	()	()	生徒用PC15台指 導用PC1台等周 辺機器関連ソフト	()	()
		実 績			生徒用PC15台 指導用PC1台等周 辺機器関連ソフト		
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	児童・生徒が、コンピューターや情報通信ネットワークなど情報手段に慣れ親しみ、適切に活用出来るためのICT学習環境が整備された。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	学習用パソコンに必要なに応じ、別途、教育ソフトを購入する必要がある。	パソコン指導教諭のスキル向上を図るため、研修や説明会等を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
小中学校におけるICT学習環境強化の充実を図るため、事業で導入したパソコン及び周辺機器を適正に運用管理していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>8,991</td><td>8,991</td><td>7,193</td><td>1,798</td><td>0</td></tr> </table> 栗国村 8,991円 備品購入費 8,991 千円 株式会社 オキジム 8,991千円 (パソコン及び周辺機器の調達に係る備品購入費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,991	8,991	7,193	1,798	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
8,991	8,991	7,193	1,798	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価、 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は村の入札参加資格者名簿から村の指名審査委員会により指名し、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費用・使途については、事業目的の達成の観点から適正であると考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4	和牛改良支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章－3－(3)－イ	
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成25～28年		沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興 Ⅲ－1－(6)	
事業内容	本村の畜産業の支援のため、付加価値の高い仔牛が生産できるよう県内外からの優良仔牛（母牛になる素牛）の導入支援を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		6,000			
		(b)予算現額		6,000			
		(c)増減額(b-a)		0			
		(d)繰越額		0			
		A. 計(b+d)		6,000			
	B. 執行済額		6,000				
	うち交付金充当額		4,800				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		予算計上どおり執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	和牛購入助成頭数 20頭	目 標	()	(20頭)	()	()	
		実 績		20頭			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	優良仔牛（母牛になる素牛）20頭を県内外から導入した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	和牛購入助成頭数 20頭	目 標	()	()	(20頭)	()	()
		実 績			20頭		
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	25年度に導入した20頭については、18頭が種付け済み（うち3頭が妊娠鑑定済み）であり、残る2頭についても発育を見ながら種付けする予定である。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	優良仔牛の生産を確保するため、導入した牛から生まれた優良雌牛を村内で保留し、母牛の更新を行う必要がある。	導入牛から生まれた雌牛のうち1頭を自家保留するよう生産農家に呼びかけていく必要がある。
今後の取り組み方針		
本村畜産業の振興を図るため、平成25年度から28年度にかけて、優良仔牛(母牛になる素牛) 50頭(累計)を計画的に導入する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)															
		<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>6,000</td><td>6,000</td><td>4,800</td><td>1,200</td><td>0</td></tr></table>				総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,000	6,000	4,800	1,200	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費											
6,000	6,000	4,800	1,200	0											
栗国村 6,000千円 → 委託料 6,000千円 → 沖縄県農業協同組合 栗国支店 → 生産農家 (優良仔牛(母牛になる素牛)の取引) (一頭につき上限30万円助成)															
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○JAは、畜産部会が農家の実情を把握しており、適切な指導ができ、委託先として妥当である。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。													
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。													
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													